

先週、回答



『集まってもらったのはほかでもない、わしは、しわいとか、ケチとか蔭で言われているのは知っておる』と営業部長は、自宅八畳の来客用和室に呼び寄せた四人の部下を前にほほ笑んだ。

その営業部長って、あの定期券を買わないで自転車通勤している部長かって？、その部長だ。

『じつは、この辺でその汚名を返上しようと思った』と口にしたので、四人は顔を見合わせ、『と、申しますと？』と合唱した。

部長は厳かに『いちどやって見たかったんだよ腕飯振舞ってやつを』と宣った。四人はそれぞれ声に出さずに呟いた（たしか腕飯振舞はお腕にもったごは

んのことだが、それは昔のこと。現在、腕飯振舞といえ、気前よく豪華な食事もや金をふるまうことだ』と。

『で、何をですか？』といちばん年嵩が質問した。言い忘れたが、この四人は全員独身である。さらに付け加えれば、その時点では、卓上に番茶しか出ていなかった。『じつは、わしの四人の娘をふるまおうと思うんだ、きみたち四人に。この際、出し惜しみしないで』

ぞろつと四人は思わず身を引いた。

『なぜですか？』いちばん年の若いのが喉に詰まった声で聞いた。

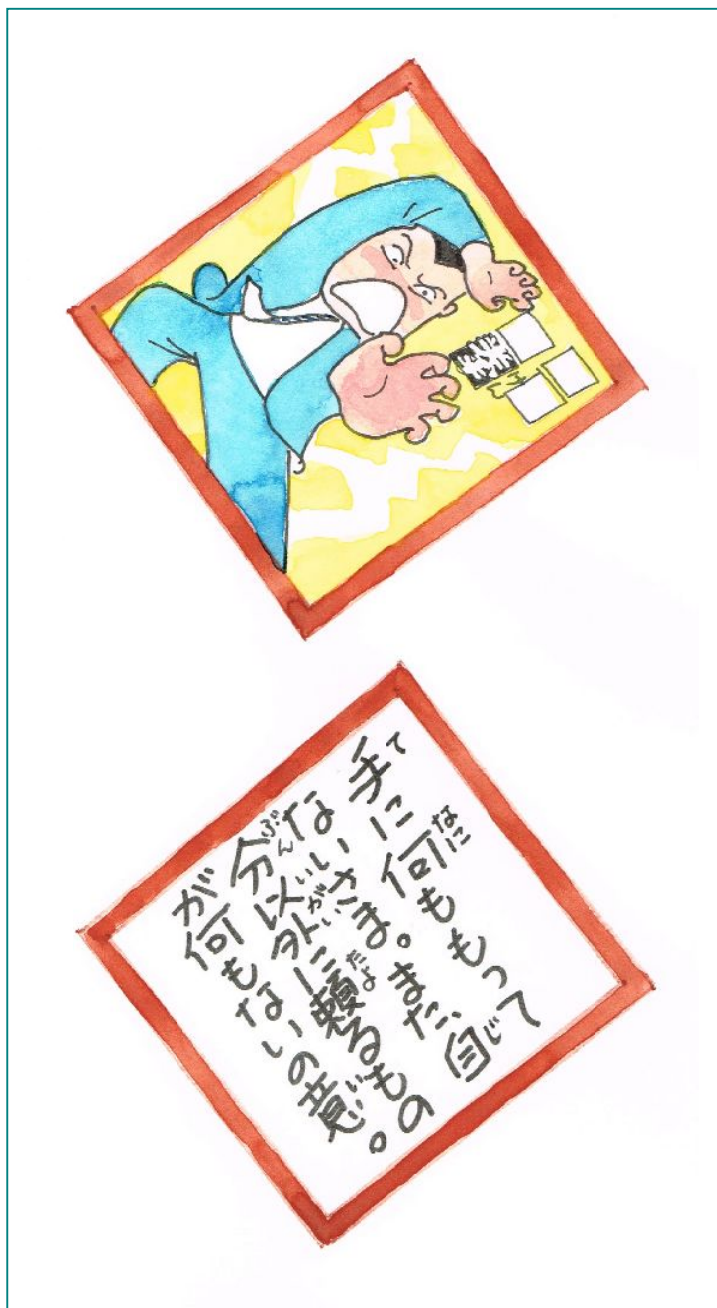
『だから、しみつたれとか吝嗇とか言わないためだよ』に、『ふるまうことにはないと思います』『なぜ？』『やたらにふるまうと傍迷惑になりかねませんから』

『なぜ？』『第一、部長をケチだなんて誰も思っていないですよ』『……』『大事にしまつた方がいいと思います』

こうして部長の腕飯振舞は不調に終わった。なぜ四人ともぞろつと身を引いたかって？それは差しさわりがあるから省略しとくが、娘四人はどれも上玉じやなかったとだけ言っておこう



今週の問題



□の中に漢字を埋めて
四字熟語を完成させてください。